



媒体資料

2020年10月-12月



株式会社翔泳社
メディアプロデュース部 広告課
Tel:03-5362-3844

新しい学びの針を進める、教育ICTのWebマガジン

「EdTechZine（エドテックジン）」は、テクノロジーを活用して「教育」や「学習」をアップデートしたいと考える皆さまに最新情報をお届けする、教育ICT（EdTech）のオンラインメディアです。

これからの時代を生きるために、従来型の基礎力に加え、「自ら課題を見つけ出し、解決する力」や「ともに学び、ともに作り上げていく力」などが求められつつあります。それらを身に付けるには、テクノロジーを活用した学びが有効とされており、実際に教育現場も変わりつつあります。

EdTechZineでは、そのような新しい学びのサポートや実践を行っている先生や企業、関係者の方々の知見を共有することで、現場で活用できるヒントをお届けします。

媒体データ（2020年8月現在）

- 会員数：約14,000名
- メルマガ配信数：約11,600名
- 月間PV：約250,000
- 月間UU：約150,000

アダプティブ・ラーニング

プログラム教育

AI

教育ICT

映像授業

学習アプリ

コーチング型教育

授業支援

eラーニング

学習管理

ICT教育

STEM教育

入試改革

デジタル教材

GIGAスクール構想

SDGs

アクティブ・ラーニング

英語4技能

オンライン学習

教育現場でのICT活用事例紹介 (中学校・高等学校)

学校で導入する端末は、何を選べばいいのか？ 4種類を導入した先生が徹底比較

タブレット端末 高校生・高専生

印刷用を表示 [ブックマーク](#) [ツイート](#) [シェア](#) 513 [BI](#) 39 [Pocket](#) 23

奥津 遼人 (文化学園大学杉並中学・高等学校) [寄]

2019/10/23 07:00

著者は東京都内の私立中高一貫校で教員として勤務しています

【寄稿記事】 ICT活用×学校

お伝えします。

はじめに

文化学園大学杉並中学校・高等学校の教員である奥津遼人です。私は2011年に麻布大学を卒業後、現任校にて非常勤講師を経て専任教諭として勤務しています。2014年からは1人1台のタブレット導入に向けた、校内での研修や生徒端末の管理など、ICT関係の担当者をしています。

専門は理科・生物で、現在はSDGsをキーワードにした活動を、校内・校外問わず行っています。即活動では生物探究部を担当し、養蜂や野外調査、校内での農業など、生徒が「本物」と触れ合える環境をできるだけたくさん設けることを意識しています。

本校は全日制の私立学校で、進路や学習方法に応じて3つのコースに分かれており、基本的にはどのコースも大学入試を見据えています。特色があるのは高等学校の「ダブルディプロマコース (DDコース)」です。このコースでは入学時に本校と、併設されたカナダのプリティッシュ・コロンビア州 (BC州) のインターナショナルスクールに入学するため、卒業時には2つの卒業資格 (ディプロマ) を取得することができます。

BC州の卒業資格 (ドッグウッド・ディプロマ) はPISAの調査でも高い成果を出しており、質の高い教育がなされていると認められています。そのため、このディプロマを持つことで英語圏の大学入試の際にTOEFLやIELTSのスコアが不要になるといった利点があるコースです。当然、このコースではカナダ人の教員によるオールイングリッシュの授業が行われており、他のコースとは異なっ

PR 教育現場でのICT活用事例紹介 (中学校・高等学校)

公立高校でゼロからICT教育を実践した先生が解説！ プロジェクターを活用した授業の可能性

高校生・高専生 周辺機器

印刷用を表示 [ブックマーク](#) [ツイート](#) [シェア](#) 336 [BI](#) 0 [Pocket](#) 3

相川 いずみ(寄) / 森山 咲 (編集部) [聞]

2020/06/17 07:00

全国の休校にともなうオンライン化とGIGAスクール構想により、学校のICT化が急ピッチで進んでいる。1人1台のコンピューターだけでなく、学校の各教室に大型スクリーンやプロジェクター、電子黒板などの導入も進む。その中でも「現場の先生から『プロジェクターをさらに活用したい』などの問い合わせが多い」と話すのは、EdTechZineの人気連載「ゼロから始めてここまでできる！ 公立高校でのICT教育実践」を執筆する浅見和寿さんだ。浅見さんは、これまで公立高校においてICT機器を取り入れた授業を実践し、担当する国語でプロジェクターを活用した授業行ってきた。そんな浅見さんに、改めて授業でプロジェクターを使う際のポイントを伺った上で、今回はBenQの教育向けプロジェクター「EW800ST」を実際に使っていただき、使用感を聞いた。



【解説記事】 ICT×学校

PR 「Hello! SDGs クリエイティブアイデアコンテスト」受賞校インタビュー

アドビのコンテスト受賞校、成城学園高校の指導教諭に訊く、子どもたちの「やってみたい！」を支援する校外活動指導とは

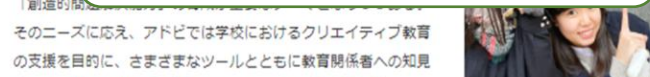
「Hello! SDGs クリエイティブアイデアコンテスト」受賞校インタビュー

アクティブラーニング クリエイター教育 作品コンテスト 高校生・高専生

印刷用を表示 [ブックマーク](#) [ツイート](#) [シェア](#) 147 [BI](#) 1 [Pocket](#) 2

伊藤 貞美

【インタビュー】 教育×SDGs



変化の激しい時代、課題を解決し、持続可能な社会を創出するために、そのニーズに応え、アドビでは学校におけるクリエイティブ教育の支援を目的に、さまざまなツールとともに教育関係者への知見やノウハウ共有の機会を提供している。2019年11月28日～2020年1月31日にかけて開催された「Hello! SDGs クリエイティブアイデアコンテスト」もその一つ。今回はその優秀賞受賞作品の中から、成城学園高等学校の生徒2人が作成した「持続可能な水作り」(Adobe Spark Video) について紹介する。

- 参考: 「アドビ、SDGsをテーマにした学生向けアイデアコンテストの受賞作品を発表」(EdTechZine)

学校部門の優秀賞として選出された成城学園高校

未来を生きる子どもたちの「創造的問題解決能力」の育成を支援するべく、アドビが開催した「Hello! SDGs クリエイティブアイデアコンテスト」では、国連が国際社会共通の目標として掲げた「SDGs: Sustainable Development Goals, 持続可能な開発目標」をテーマに、**Adobe Premiere Rush** (アドビプレミアラッシュ: ビデオ編集ソフト) または**Adobe Spark** (アドビスパーク: コンテンツ作成ソフト) を使用して制作した作品の募集が行われた。単なる作品コンテストではなく、課題発見から解決のプロセスにおける試行錯誤やアイデアの視覚化、プレゼンテーションに至るまでが評価され、総合的な「創造的問題解決能力」育成に寄与することを目的としてい

広告メニュー① 純広告/バナー・テキスト

PC



モバイル



PC



- ※1 配信ペースには偏りが生じる場合がございます
- ※2 デバイスへの振り分け配信は不可としております
- ※3 第三者配信をご希望の際は事前にご相談ください

【入稿先】翔泳社 広告課
ad_submit@shoeisha.co.jp

メニュー	価格(税抜)	想定imp	掲載期間	表示方法 ※1	掲載面 ※2	サイズ(W*H)	容量	ファイル形式※3	ループ	原稿差し替え	入稿締切
①スーパーバナー	¥200,000	40,000	1ヶ月	ローテーション	全ページ	728*90	100KB以下	GIF、jpg、png 第三者配信	3回まで	2回全3種、 営業日のみ	5営業日前
②レクタングル	¥200,000	40,000	1ヶ月	ローテーション	全ページ	300*300	100KB以下	GIF、jpg、png 第三者配信	3回まで	2回全3種、 営業日のみ	5営業日前
③アーティクルリンク	¥100,000	40,000	1ヶ月	ローテーション	全ページ	全角40文字以内	-	テキスト	-	2回全3種、 営業日のみ	5営業日前
④記事下バナー	¥100,000	20,000	1ヶ月	ローテーション	全記事ページ (除・タイアップ) (PCのみ)	500*300	100KB以下	GIF、jpg、png 第三者配信	3回まで	2回全3種、 営業日のみ	5営業日前

広告メニュー② メール広告

EnterpriseZine News 号外 (2015. 06. 01)

このメールは EnterpriseZine で会員登録をされた方にお送りしています。
配信停止の方法は文末をご参照ください。

BizJin編集部が6月16日(火)に開催する講座を紹介します。

Rではじめるビジネス統計分析講座【操作編】
http://go2. [redacted]

【日時】2015年6月16日(火) 10:00~18:00
【会場】株式会社 セミナールーム (東京・新宿)
【参加費】9,800円(税込)
【特典】録音 IR ではじめるビジネス統計分析】進呈

「データ分析」スキルがどのビジネスシーンにも必須のスキルとされ、
多くの業種の方、様々な職種の方に活用されています。また、
ビジネスシーンの中でも、ワーケーションの中でも、人気のテーマとなっています。

高度な可視化ツールソフトウェア、実行環境ということもあり、
R/RStudio によるデータ分析が注目されています。
しかし、Excel でのデータ分析/操作に親しみのある方にとっては、
とっつきにくい一面があるのも確かです。

そこで今回、講師執筆の書籍『Rではじめるビジネス統計分析』をベースにした講義内容です。
http://go2.shoeisha.jp/c/afkwarmuth1Vwjac

★プログラムの特徴★
◎Rの基本操作からグラフの大量作成まで「操作」に特化した内容

1: 基本的な操作方法 (書籍1章に該当)
(1) 四則演算 (2) データフレームの操作方法 (3) データの加工

2: データの可視化 (書籍2章に該当)
(1) ggplot2で可視化するフロー (2) 分析の視点を変える

EnterpriseZine News(2013. 10. 01) http://enterpriseline.jp/ Vol. 252

☆PR☆
Oracle OpenWorld サンフランシスコの熱狂を東京で。体感する2日間。
ウェスティンホテル東京>
<決定。ご登録は今すぐ。>

◆平井明夫が教える、1日でわかる企業データ分析講座【基礎編】
※後者スキル、ビジネスデータ分析スキルを身につける！
明夫著 翔泳社刊)も進呈
http://go2.shoeisha.jp/c/abyaaae019q32bae

★ どうも自分のアイデアが「マンネリ」だなと悩むあなたへ ★
※後者スキル、ビジネスデータ分析スキルを身につける！
明夫著 翔泳社刊)も進呈
お申込・詳細 ⇒ http://go2.shoeisha.jp/c/abyaaae019q32bae
☆PR☆

このメールは EnterpriseZine で会員登録をされた方にお送りしています。
配信の停止は文末をご確認ください。
バックナンバーはこちら。http://go2.shoeisha.jp/c/abyaaae019q32bae

[0] 目次

[1] 今週のホットトピック!
[2] 編集部おすすめセミナー
[3] 新着記事
[4] 人気記事ランキング
[5] 配信停止の方法

[1] 今週のホットトピック!

★iPad、Android、Windows...多くのタブレットが乱立するなかで、法人向け
タブレットの導入はどのような基準で選択していくべきでしょうか？
各タブレットの具体的な利用シーンを踏まえて、ユーザーがとるべき
最適な選択はどれかをおポイントについて考えていきます。

【入稿先】翔泳社 広告課
ad_submit@shoeisha.co.jp

メニュー	価格(税抜)	配信数	配信日	文字数	掲載URL	入稿締切
①EdTechZine News 単独メール	¥200,000	約11,600	平日任意	[件名] 全角35文字以内 [本文] 全角37文字×100行以内	複数可	3営業日前
②EdTechZine News ヘッダ	¥50,000	約11,600	毎週金曜日	全角37文字以内×5行	1点	3営業日前

TOPページ



記事ページ



- ◎掲載までの流れ(例)
- 【お申し込み】
 - ↓ ……日程調整
 - 【取材】
 - ↓ ……中7～10営業日
 - 【初校提出】
 - ↓ ……中3営業日
 - 【初校お戻し】
 - ↓ ……中2営業日
 - 【再校提出】
 - ↓ ……中1営業日
 - 【再校お戻し・校了】
 - ↓ ……中1営業日
 - 【公開】

※上記は1例です
 実際のお申し込みの際には
 個別にスケジュールを
 お出しします

メニュー	価格(税抜)	想定PV/imp	掲載期間	表示方法	文字数	掲載開始目安	原稿制作	その他導線
①タイアップ記事	¥700,000~ (+遠方の場合 は別途交通費)	1,000PV~	1ヶ月	-	A4×1.5ページ相当	取材から1ヵ月	編集部	・編集部SNS (Twitter、Facebook) ・RSS ・アリーナ ・編集部メールマガジン「新着記事」欄 ※掲載時期、期間は 編集部に一任いただきます ②Special Contents1ヵ月分
②Special Contents	セット	40,000imp	1ヶ月	ローテーション	[テキスト]全角45文字 [画像]記事アイコン	記事公開日	編集部	-

集客プラン

【50名～規模向け】

- ・EdTechZine News 単独メール配信 ¥200,000 × 3本
 - ・バナー掲載(4万imp/月) ¥200,000/月
- 合計: ¥800,000 → **特別価格: ¥680,000(税別/グロス)**

- ・EdTechZine News 単独メール配信 ¥200,000 × 3本
- 合計: ¥600,000 → **特別価格: ¥540,000(税別/グロス)**

【～50名規模向け】

- ・EdTechZine News 単独メール配信 ¥200,000 × 1本
 - ・EdTechZine News ヘッダメール配信 ¥50,000 × 2本
- 合計: ¥300,000 → **特別価格: ¥200,000(税別/グロス)**

施策プラン

- ・EdTechZine News 単独メール配信 ¥200,000 × 2本
 - ・セミナーレポート作成 ¥700,000 × 1本
- 合計 ¥1,100,000 → **特別価格: ¥880,000(税別/グロス)**

過去出稿実績一覧

